



平成 24 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 ホクト株式会社
代表者名 代表取締役社長 水野 雅義
(コード番号 1379 東証第一部)
問合せ先 専務取締役管理本部長 高藤 富夫
(TEL. 026-259-5955)
(URL <http://www.hokto-kinoko.co.jp/>)

新品種きのこ「霜降りひらたけ」の開発についてのお知らせ

当社きのこ総合研究所では、新品種きのこ「霜降りひらたけ」(ヒラタケ属新品種)の開発に成功し、特許出願及び品種登録出願を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新品種の概要

- 品 種 名 : 霜降りひらたけ (ヒラタケ属新品種)
主な特徴 : 日本産ヒラタケとヨーロッパ産ヒラタケ属 (エリンギなど) の交配育種により開発いたしました。遺伝子組み換え等の技術は一切使用しておりません。すでに商標登録も出願済みとなっております。傘には霜降り状の模様があり、従来のヒラタケに比べて傘が肉厚で、形が崩れにくくなっております。

2. 開発の経緯

当社では、安全でおいしく召し上がっていただけるきのこを開発すべく研究に取り組んでまいりました。現在、生産販売されておりますブナシメジ、エリンギ、マイタケ、ブナピーの4品種もそうした研究の中から開発された当社独自の品種であります。市場や消費者の皆様からはこれら4品種のきのこに加わる新しいきのこの開発を待望されておりました。当社きのこ総合研究所におきましては、皆様のご期待に添えるよう日々研究開発活動を行ってまいりました。

これまで、きのこ研究者の間ではヒラタケとエリンギとは交配しないということが常識とされておりました。しかしながら、当社では日本産ヒラタケとヨーロッパ産ヒラタケ属 (エリンギなど) の品種で交配技術を駆使し、種間交配による新品種の開発に成功いたしました。この種間交配技術に関しましては特許出願を済ませ、開発された新品種につきましては品種登録出願を済ませております。

3. 新品種の特徴

主な特徴としまして、傘にはきれいな霜降り状の模様があります。外観はヒラタケに似ておりますが、一般のヒラタケに比べて傘が肉厚であり、菌ごたえはエリンギに似ております。また、当きのこは従来のきのこと同様に低カロリーであり、幅広いジャンルの料理に合わせてお使いいただけます。

日本産ヒラタケは、平成元年頃には現在のエリンギと同等の生産量がありました。しかし、従来の日本産ヒラタケは流通過程で傘が割れやすいことや調理した時にも形が崩れやすいといったことから、年々生産量が減少してまいりました。今回開発いたしました当新品種につきましては、傘が割れにくいことや料理をしても形が崩れにくいことなど、従来のヒラタケとは一線を画す新品種となっております。



(右写真はパック内部の霜降りひらたけの形状です。)

4. 業績に与える影響

本件に伴う当期業績への影響は軽微であります。

以 上